給食について

❖ みんなで楽しいランチタイム

子どもたちは、給食の時間をとても楽しみにしています。お友だちや先生と一緒に給食を食べることで、友だちの輪が広がったり、今まで食べられなかったものが少し食べられるようになったり、家庭の食事だけでは味わえない楽しみがあります。

献立には、旬の食材をとり入れたものや、伝統的な行事にまつわる食事などもあり、お昼ごはんの役割だけでなく、食文化やバランスの良い食事など、「給食を生きた教材」として多くのことを学びます。

学校では、苦手なものを無理に食べさせたり、全員に同じ量を食べさせたりすることはありません。食べられる量を食べきる指導をしています。好き嫌いを減らす指導についても、家庭と連携をとりながら進めていきます。

毎月、学校給食予定献立表は、吹田市教育委員会保健給食室のホームページに掲載されており、きゅうしょくだよりは御家庭に配布しています。お子様と御覧いただき、給食や食に関することを話題にしてみてはいかがでしょうか。そして、給食に関心を持ち、一日も早く給食に慣れ、楽しみな時間になってくれることを願っています。

＜学校給食予定献立表＞

一ヶ月の予定献立と分量（中学年の量を記載）をお知らせしています。（低学年は記載量の 90%量になります）裏面には、献立紹介・アレルギーの対応に関するお知らせなどを掲載しています。

学校給食予定献立表

吹田市教育委員会
吹田市学校給食会

令和　年9月分（　　年）

朝ごはんを食べましょう

栄養三色

十五夜

給食レシピ

月見団子

【アレルギーの対応に関するお知らせ】

きゅうしょくのおしらせ

9月27日(月)

心だキムチごはん
ぎゅうにゅう
たまごスープ
にんじんのレモンふうみ

豚キムチごはん

豚キムチは、韓国では「キムチポックン（キムチの炒め物）」と言われています。

豚キムチごはんは、豚肉とキムチを炒め、お米と一緒に炊き込んで作っています。

クイズ

「はくさい」は、えいよう三色では何色の食べものかな？

①き　②あか　③みどり

＜きゅうしょくのおしらせ＞

当日のメニュー紹介や食材に関する話など、給食にまつわるものを題材にした「きゅうしょくのおしらせ」をクラスに配布し、食育に活用しています。

❖ **給食の内容**

献立は一ヶ月毎に栄養教職員が原案を作成し、献立作成会議で決定しています。主食・副食・牛乳がそろった完全給食で吹田市内統一献立になっています。

①学校給食摂取基準をみたすこと②食品衛生上安全であること③児童の嗜好、献立の変化、薄味で素材の味を大切にすること④多種類の食材、旬の材料、日本の伝統的な食品も取り入れるように心がけています。

全ての学校が、校内にある調理場で調理しています。

- パンは７種類程度あり、無漂白の小麦粉を使用し、糖分・脂肪分を控えたものが基本です。
- 米飯は週４回で、自校炊飯です。白飯のほか、季節の食材を使った炊き込みご飯やピラフなども献立に取り入れています。
- 牛乳は、ストローレス紙パック入りの牛乳を使用しています。
- 栄養について、学校給食摂取基準をもとに、家庭の食事で不足しがちな栄養量を補えるように考えています。

❖ **給食費**

低・中・高の三段階です。学年によりパンの大きさや米飯・おかずの量が異なるためです。

❖ **食物アレルギーの対応について**

学校給食は教育の一環として実施していますが、医療的配慮のひとつとして全市統一で以下の対応をしています。

・卵、乳、小麦の一部の除去食　　＊代替食の対応はしていません
・欠食（主食・副食・給食全般）
・加工食品の原材料配合表、食物アレルギー確認用予定献立表の配付

安全な食物アレルギーの対応を実現するため、除去食・欠食などは医師の診断に基づいたものを基本としています。但し、学校給食の対応は文部科学省の指針に基づき実施していますので、必ずしも御家庭と同じ対応ができるとは限りませんので、御了承ください。

対応を希望する場合は、学校から所定の書類一式をお渡しして、対応の説明をします。所定の書類一式のご提出がなければ、対応できません。

食物アレルギーがある場合は、入学前に余裕をもってできるだけ早く学校へご連絡ください。

＊吹田市では「そば・ピーナッツ・えび・かに・アーモンド・カシューナッツ・くるみ・いくら・あわび・キウイフルーツ・バナナ・マカダミアナッツ・やまいも」の 13 品目は、そのものでの提供や加工品に含まれることはありません。さらに、みかん・ポンカンを除く生の果物・野菜・魚介類を提供することはありません。これらの食物アレルギーをお持ちの場合は、給食の配慮に関しての書類一式の提出は不要です。ただし、学校生活において把握が必要となることもありますので「安全カード」にこの旨、必ずご記入いただき、別途ご相談ください。

また、提供しないもの以外の食物アレルギーをお持ちで配慮が必要な場合は、必ずお申し出下さい。

＜おねがい＞

家庭での食事について

・家族で楽しく食べる機会を増やしましょう。
・朝食はきちんと食べましょう。
・野菜をしっかり食べましょう。
・食べず嫌いの子どもが増えています。いろいろな食品を使いましょう。